

問1 昔と比べて魚の生産量が減っている中で、養殖漁業がさかんに行われるようになった一番の理由は何ですか。

問2 標高が高く、夏でもすずしい気候を利用して、キャベツやレタスを育てる農業を何といいますか。

問3 海の中に「いけす」などの施設を作り、魚や海そうを人の手で管理して育てる漁業のことを何といいますか。

問4 「地産地消（ちさんちしょう）」とは、どのようなことですか。

問5 遠洋漁業の生産量が、1970年代から大きく減り続けている主な理由は何ですか。

問6 魚を卵からかえした稚魚などを、いけすなどで大きくなるまで人工的に育てて出荷する漁業を何といいますか。

問7 畜産のなかでも、特に乳牛を飼育し、牛乳やバターなどを生産する仕事を何といいますか。

問8 漁港の近くに「加工工場」があることで、どのような良さがありますか。

問9 農薬や化学肥料にたよらないで行う栽培方法を何といいますか。

問10 牛やぶた、にわとりなどを飼って、肉や牛乳、卵などを生産する仕事を何といいますか。

問11 漁業資源を守るために、国や自治体が行っている「とれる魚の量や期間を制限する」取り組みのことを何といいますか。

問12 人工的に育てた稚魚を、ある程度の大きさになるまで守ってから海や川に放し、自然の中で成長させてからとる漁業のことを何といいますか。

問13 農家が収穫したお米を、市場などを通さずに消費者のもとへ直接送る販売方法を何といいますか。

問14 その土地の気候や風土に合わせて、より育てやすくおいしい農作物の種類を新しく作り出すことを何と言いますか。

問15 林業で、木が十分に育ったあとに、それらを切り出して木材にする作業を何といいますか。

問16 生産者が育てた野菜や果物を、スーパーマーケットなどの間に入るお店を通さずに、お客さんに直接売る場所を何といいますか。

問17 大都市の近くで、消費者の好みに合わせて新鮮な野菜をたくさん作り、トラックを使って素早く届ける農業を何といいますか。

問18 漁港の近くに建てられている、水揚げされた魚を競りにかけるための施設を何といいますか。

問19 長野県や群馬県などの涼しい地域で、夏の涼しい気候をいかしてキャベツやレタスを育てる主な目的は何ですか。

問20 農家が「産地直送」でお客さんに商品を届けることで、どのような良いことがありますか。

- 問1 標高が高く、夏でもすずしい気候を利用して、キャベツやレタスを育てる農業を何といいますか。
- 問2 国や自治体が、魚の量や期間を制限するような「漁獲規制」を行う一番の目的は何ですか。
- 問3 漁業資源を守るために、国や自治体が行っている「とれる魚の量や期間を制限する」取り組みのことを何といいますか。
- 問4 漁港の近くに「加工工場」があることで、どのような良さがありますか。
- 問5 大陸だなの近くでは、なぜよい漁場ができるのですか。
- 問6 暖流や寒流が近くを流れ、海そうやプランクトンが多く、よい漁場となっている浅い海底のことを何といいますか。
- 問7 暖流と寒流がぶつかり、よい漁場となっているところを何といいますか。
- 問8 人工的に育てた稚魚を、ある程度の大きさになるまで守ってから海や川に放し、自然の中で成長させてからとる漁業のことを何といいますか。
- 問9 漁港の近くに建てられている、水揚げされた魚を競りにかけるための施設を何といいますか。
- 問10 魚市場で行われる「せり」には、どのような役割がありますか。
- 問11 大都市の近くで、消費者の好みに合わせて新鮮な野菜をたくさん作り、トラックを使って素早く届ける農業を何といいますか。
- 問12 遠洋漁業の生産量が、1970年代から大きく減り続けている主な理由は何ですか。
- 問13 農家の人々が集まって、農業のやり方を教え合ったり、農作物をまとめて売ったりする組織のことを何といいますか。
- 問14 農家が「産地直送」でお客さんに商品を届けることで、どのような良いことがありますか。
- 問15 その土地の気候や風土に合わせて、より育てやすくおいしい農作物の種類を新しく作り出すことを何と言いますか。
- 問16 「地産地消（ちさんちしょう）」とは、どのようなことですか。
- 問17 長野県や群馬県などの涼しい地域で、夏の涼しい気候をいかしてキャベツやレタスを育てる主な目的は何ですか。
- 問18 林業で、木が十分に育ったあとに、それらを切り出して木材にする作業を何といいますか。
- 問19 ビニールハウスなどの施設とあたたかい気候を利用して、ふつうよりも早い時期に野菜をつくり出荷する栽培方法を何といいますか。

- 問1 牛やぶた、にわとりなどを飼って、肉や牛乳、卵などを生産する仕事を何とといいますか。
- 問2 農薬や化学肥料にたよらないで行う栽培方法を何とといいますか。
- 問3 農家が収穫したお米を、市場などを通さずに消費者のもとへ直接送る販売方法を何とといいますか。
- 問4 農家の人々が集まって、農業のやり方を教え合ったり、農作物をまとめて売ったりする組織のことを何とといいますか。
- 問5 大陸だなの近くでは、なぜよい漁場ができるのですか。
- 問6 夏の涼しい気候などを利用して、野菜の育つ時期を普通よりも「遅らせて」栽培する方法を何とといいますか。
- 問7 漁港の近くに建てられている、水揚げされた魚を競りにかけるための施設を何とといいますか。
- 問8 暖流と寒流がぶつかり、よい漁場となっているところを何とといいますか。
- 問9 暖流や寒流が近くを流れ、海そうやプランクトンが多く、よい漁場となっている浅い海底のことを何とといいますか。
- 問10 生産者が育てた野菜や果物を、スーパーマーケットなどの間に入るお店を通さずに、お客さんに直接売る場所を何とといいますか。
- 問11 漁港の近くに「加工工場」があることで、どのような良さがありますか。
- 問12 畜産のなかでも、特に乳牛を飼育し、牛乳やバターなどを生産する仕事を何とといいますか。
- 問13 ビニールハウスなどの施設とあたたかい気候を利用して、ふつうよりも早い時期に野菜をつくり出荷する栽培方法を何とといいますか。
- 問14 昔と比べて魚の生産量が減っている中で、養殖漁業がさかんに行われるようになった一番の理由は何ですか。
- 問15 魚市場で行われる「せり」には、どのような役割がありますか。
- 問16 栽培漁業において、わざわざ稚魚を育ててから自然の中へ「放流」するのはなぜですか。
- 問17 国や自治体が、魚の量や期間を制限するような「漁獲規制」を行う一番の目的は何ですか。
- 問18 長野県や群馬県などの涼しい地域で、夏の涼しい気候をいかしてキャベツやレタスを育てる主な目的は何ですか。
- 問19 遠洋漁業の生産量が、1970年代から大きく減り続けている主な理由は何ですか。
- 問20 群馬県や長野県の高原地域で、夏から秋にかけてキャベツやレタスをたくさん出荷しているのは、なぜですか。

- 問1 遠洋漁業の生産量が、1970年代から大きく減り続けている主な理由は何ですか。
- 問2 農家の人々が集まって、農業のやり方を教え合ったり、農作物をまとめて売ったりする組織のことを何といいますか。
- 問3 漁港の近くに建てられている、水揚げされた魚を競りにかけるための施設を何といいますか。
- 問4 海の中に「いけす」などの施設を作り、魚や海そうを人の手で管理して育てる漁業のことを何といいますか。
- 問5 林業において、木と木の間隔を広げて日光が地面まで届くようにし、木の成長を助けるための作業を何といいますか。
- 問6 農家が「産地直送」でお客さんに商品を届けることで、どのような良いことがありますか。
- 問7 暖流や寒流が近くを流れ、海そうやプランクトンが多く、よい漁場となっている浅い海底のことを何といいますか。
- 問8 群馬県や長野県の高原地域で、夏から秋にかけてキャベツやレタスをたくさん出荷しているのは、なぜですか。
- 問9 栽培漁業において、わざわざ稚魚を育ててから自然の中へ「放流」するのはなぜですか。
- 問10 地産地消を行うことで、どのような良い効果がありますか。
- 問11 人工的に育てた稚魚を、ある程度の大きさになるまで守ってから海や川に放し、自然の中で成長させてからとる漁業のことを何といいますか。
- 問12 「地産地消（ちさんちしょう）」とは、どのようなことですか。
- 問13 昔と比べて魚の生産量が減っている中で、養殖漁業がさかんに行われるようになった一番の理由は何ですか。
- 問14 暖流と寒流がぶつかり、よい漁場となっているところを何といいますか。
- 問15 農家が収穫したお米を、市場などを通さずに消費者のもとへ直接送る販売方法を何といいますか。
- 問16 魚市場で行われる「せり」には、どのような役割がありますか。
- 問17 農薬や化学肥料にたよらないで行う栽培方法を何といいますか。
- 問18 国や自治体が、魚の量や期間を制限するような「漁獲規制」を行う一番の目的は何ですか。
- 問19 牛やぶた、にわとりなどを飼って、肉や牛乳、卵などを生産する仕事を何といいますか。

問1 魚を卵からかえした稚魚などを、いけすなどで大きくなるまで人工的に育てて出荷する漁業を何といいますか。

問2 昔と比べて魚の生産量が減っている中で、養殖漁業がさかんに行われるようになった一番の理由は何ですか。

問3 農家の人々が集まって、農業のやり方を教え合ったり、農作物をまとめて売ったりする組織のことを何といいますか。

問4 農薬や化学肥料にたよらないで行う栽培方法を何といいますか。

問5 地産地消を行うことで、どのような良い効果がありますか。

問6 畜産のなかでも、特に乳牛を飼育し、牛乳やバターなどを生産する仕事を何といいますか。

問7 ビニールハウスなどの施設とあたたかい気候を利用して、ふつうよりも早い時期に野菜をつくり出荷する栽培方法を何といいますか。

問8 暖流と寒流がぶつかり、よい漁場となっているところを何といいますか。

問9 その土地の気候や風土に合わせて、より育てやすくおいしい農作物の種類を新しく作り出すことを何と言いますか。

問10 漁港でとれたばかりの魚が集められ、買い手が値段を決めるために「せり」を行う場所を何といいますか。

問11 群馬県や長野県の高原地域で、夏から秋にかけてキャベツやレタスをたくさん出荷しているのは、なぜですか。

問12 人工的に育てた稚魚を、ある程度の大きさになるまで守ってから海や川に放し、自然の中で成長させてからとる漁業のことを何といいますか。

問13 遠洋漁業の生産量が、1970年代から大きく減り続けている主な理由は何ですか。

問14 海の中に「いけす」などの施設を作り、魚や海そうを人の手で管理して育てる漁業のことを何といいますか。

問15 夏の涼しい気候などを利用して、野菜の育つ時期を普通よりも「遅らせて」栽培する方法を何といいますか。

問16 国や自治体が、魚の量や期間を制限するような「漁獲規制」を行う一番の目的は何ですか。

問17 標高が高く、夏でもすずしい気候を利用して、キャベツやレタスを育てる農業を何といいますか。

問18 林業において、木と木の間隔を広げて日光が地面まで届くようにし、木の成長を助けるための作業を何といいますか。

問19 漁港の近くに「加工工場」があることで、どのような良さがありますか。